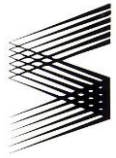


令和5年度

学校だより
令和6年1月31日



さつきが丘

2月号 第367号

1月の行事から

副校長 安村 宏晃

先日、さつきが丘小学校郷土史の会で主催されたどんど焼きに参加しました。

郷土史の会の方が、「どんど焼き」やさつきが丘小学校の「どきどきルーム（郷土資料室）」などのお話をしてくださいました。

無病息災を祈念しながらお正月飾りを炊き上げ、お団子を焼いて食する伝統行事に、地域の多くの方が参加され、たくさんの笑顔が見られました。多くの方から「伝承遊びの会もよろしくお願ひします」と声をかけられました。授業の中で郷土史の会の方から昔の暮らしについてお話を聞かせていただいた3年生も大勢訪れて一緒に話を聞いていました。子どもたちと一緒に和気藹々とできる様子がとっても素敵に感じました。

伝承遊びの会では、多くの地域の遊びの達人にお越しいただきました。3年生の児童に「めんこ」や「お手玉」「ベーゴマ」「凧作り」「けん玉」「お囃子」など古くから伝わるいろいろな遊び道具の作り方や、遊び方を教えていただきました。一つのことをしっかり時間をかけて体験し、だんだんと上手になっていくのを感じられている児童も多かったように思います。友だち同士で競い合いながら遊べるものも多く、より豊かな表現でお互いにかかわれているように感じました。学校だけでなく普段の時も自分たちで練習してみる、楽しみながら競ってみてもいいなと思いました。

伝承遊びの会が終わってから図書室にボランティアさんが集まって振り返りの会を行いました。その図書室には、図書ボランティアさんがちょうど節分の豆まきにちなんだ飾りつけをしてくれたところとのことでした。図書室でも節分にあわせて「鬼」が登場する本を集めたコーナーをつくって児童に楽しんでもらうとのことでした。節分の話から「日本の昔話や童話では鬼は怖いものだったり悪さをするものだったりするものだけでなく、優しい鬼やこっそりいいことをする鬼などいろいろなタイプの『鬼』が描かれている」こと「日本以外の国々ではどうなんだろう。」といったことを司書の先生とお話しました。児童の皆さんもいろいろな国の「鬼」の話を手にとって、様々な国の文化に触れてもらえればと思います。

今年もボランティアの皆様のおかげで「どきどきルーム」にひな人形がお目見えしました。歴史や文化にふれるよい機会となれば幸いです。

1月が行き、逃げる2月、去る3月と続きます。令和5年度も多くの地域の方・ボランティアの方々に支えられ、素敵な1年になりました。たくさんのお力添えをありがとうございました。

さて、願いを込めて行われる2月の節分。児童にも伝統にふれるとともに季節の変わり目を感じてほしいと思います。「鬼は外」の掛け声とともに自分の中にあるかもしれない悪い考え方をしっかり追い払い、「福は内」でより良い考え方ができるように成長することを願うとともに今までのことを振り返り、正しいとわかっていることを素直に行える人に成長して行ってほしいと思います。